

新型コロナウイルスワクチンの公平な接種に関する意見

現在の新型コロナウイルス感染症の感染状況は、一部地域で3度目の非常事態宣言の発出も想定されるなど、当該地域にかかわらず全国民が第4波の到来に危機感を募らせている状況です。

感染拡大防止の切り札であるワクチン接種については、我々地方は、国が示す優先順位に従い接種を進めている中であって、一部では、感染が急拡大している首都圏など大都市にワクチンを重点的に配分することを求める動きが出てきております。

このような言動は、地方において、不自由を我慢しながら感染症対策を誠実に行いつつワクチン接種を待ち望んでいる住民をはじめ、早期に接種できるよう努力している我々町村長にとって、到底、承服しかねるものです。

つきましては、国に対し、我々地方が、正直者が馬鹿を見ることなく、公平にワクチン接種ができるよう改めて働きかけてくださるようお願い申し上げます。

令和3年4月23日

全国町村会

会長 荒木 泰臣 様

栃木県町村会

会長 古口 達也